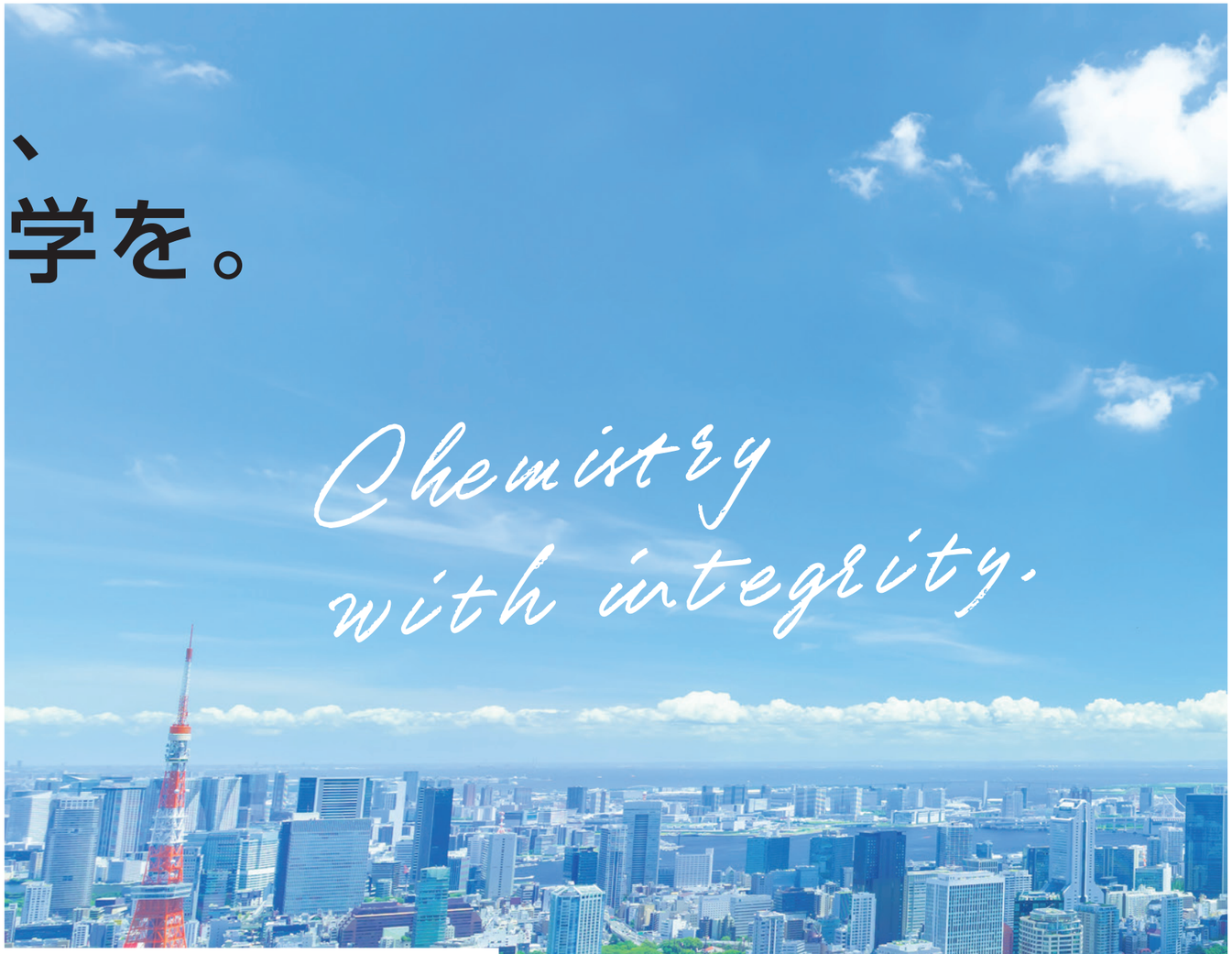
関東電化工業株式会社
KANTO DENKA KOGYO

最新の情報についてはホームページをご確認ください。
https://www.kantodenka.co.jp/

Innovative,
Development-driven
Company

KANTO DENKA KOGYO

人と地球に、
誠意ある化学を。



PHILOSOPHY
経営理念

会社の永遠の発展を追求し、地球環境との調和を図りながら適正な利益を確保することにより、株主、ユーザー、従業員と共に繁栄する企業を目指して持続可能な社会づくりに貢献する。
これを実現するために、当社独自の技術と心のこもったサービスでユーザーの期待に応え、誠意·創造性·迅速な対応·自然との調和をモットーに信頼される関東電化を築き上げる。

POLICY
行動指針

関東電化工業は、誠意·創造·信頼を大切にし、社会に貢献する企業を目指しています。
私たちは、経営理念を具体的行動に落とし込んだ6つの行動指針を胸に、一人ひとりが責任と誇りをもって行動しています。

- お客様第一を常に考え、礼儀正しく、情熱をもって行動しよう
- 法令·社内規程を遵守し、公明正大に行動しよう
- 5S·PDCAを実行し、安全で働きやすい職場環境をつくりあげよう
- 自己の研鑽と後進の育成に努め、仕事のプロフェッショナルを目指そう
- 創造的な技術でお客様が安心して使用できる製品を創り出そう
- 持続可能な社会づくりのため、地球環境の保全·調和に積極的に取り組もう

MESSAGE
独自の技術で拓く、サステナブルな未来へ

関東電化工業は1938年の創業以来、コア技術である「電解技術」「フッ素化技術」「粒子制御技術」に関わる領域を中心に専門知識やノウハウを蓄積し、発展してまいりました。とりわけ当社が日本国内で初めて確立に成功したフッ酸電解技術は、半導体やリチウムイオン二次電池の原料となる先端材料の製造になくてはならないものであり、デジタルでサステナブルな社会の実現に重要な役割を果たしています。

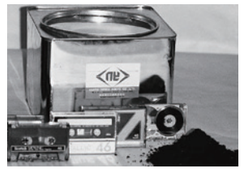
当社は、ありたい姿である「安定した経営基盤のもと、安全で働きがいを実感できる環境を提供し、独自性·優位性ある製品で世界最先端の技術を支え、サステナブルな社会に貢献する"創造的開発型企業"」に成長することを目標として、今後も社会に貢献すべく邁進してまいります。

皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Junichi Hasegawa
代表取締役社長
長谷川　淳一

HISTORY 関東電化工業の歩み

1938年、航空機用ジュラルミンの原料となる金属マグネシウムの製造を目的に、関東電化工業は設立されました。
以来、私たちはその時代ごとに求められる最先端の化学製品を生み出し、社会の発展とともに歩んできました。



過去から未来へ、つむぐ技術。

Technology & Trust

化学の可能性を信じ、挑戦を重ねて築き上げた技術と信頼。
この年表には、関東電化工業が大切にしてきたものづくりへの情熱が刻まれています。
過去を振り返ることは、未来へのヒントを見つけること。
私たちの軌跡から、関東電化工業の“これまで”と“これから”を感じていただけたら幸いです。

1938 ～ 創業と基礎化学品事業の勃興
1970 ～ フッ素系・鉄系事業の発展
1997 ～ 電池材料事業への進出と海外への雄飛

1940
- 1939 金属マグネシウム、か性ソーダ製造開始
- 1939 渋川工場操業開始
- 1938 創業
- 1945 金属マグネシウム製造中止

1950
- 1950 トリクロールエチレン製造開始

1960
- 1960 大阪支店開設
- 1962 名古屋営業所開設
- 1965 水島工場操業開始

1970
- 1967 塩化ビニリデン製造開始
- 1970 フッ酸電解技術確立
- 1971 SF6製造開始
- 1971 酸化鉄事業で森下弁柄工業と提携

1980
- 1977 複写機用キャリヤー製造開始
- 1981 CF4製造開始
- 1979 磁性合金粉MAP製造開始

1990
- 1986 イオン交換膜法電解へ転換完了
- 1986 WF6製造開始
- 1987 NF3製造開始
- 1988 顔料用マグネタイト製造開始

2000
- 1997 ClF3製造開始、水島工場フッ酸電解開始
- 1997 LiPF6製造開始
- 2000 関東電化KOREA設立
- 2004 台灣關東電化設立

2010
- 2005 渋川工場ソーダ電解停止
- 2010 CH3F、COS製造開始
- 2005 C4F6製造開始
- 2005 磁性合金粉MAP製造中止
- 2011 科地克（上海）貿易設立

2020
- 2017 LiBF4製造開始
- 2017 関東電化ファインプロダクツ韓国設立
- 2018 台灣關東電化シンガポール支店設立
- 2020 宣城科地克科技設立
- 2022 熊本事業部開設
- 2023 KSG-14製造開始
- 2023 森下弁柄工業が関東電化ファインテックに社名変更
- 2024 KSG-5製造開始

● 基礎化学品　● 特殊ガス　● 電池材料　● 鉄系　● 事業所・工場・海外拠点

SUSTAINABILITY

サステナビリティ

未来のために、いま私たちができることを。

当社グループは、2015年9月に国連で採択されたSDGs（Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」）の達成を目指して、独自性・優位性ある製品でグローバルに世界最先端の技術を支え、創造的開発型企業として永続的な発展を図るとともに、ESG（環境、社会、ガバナンス）を念頭に持続可能な社会に貢献するため、真摯に環境問題や人権問題にも取り組んでまいります。

安全で働きがいを実感できる職場環境を築き、自然との調和をモットーに3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、環境負荷物質の排出抑制、産業廃棄物の削減および資源の有効利用を進め、社会的な課題の解決を目的とした活動を通じて企業価値を高め、持続可能な社会づくりに貢献いたします。

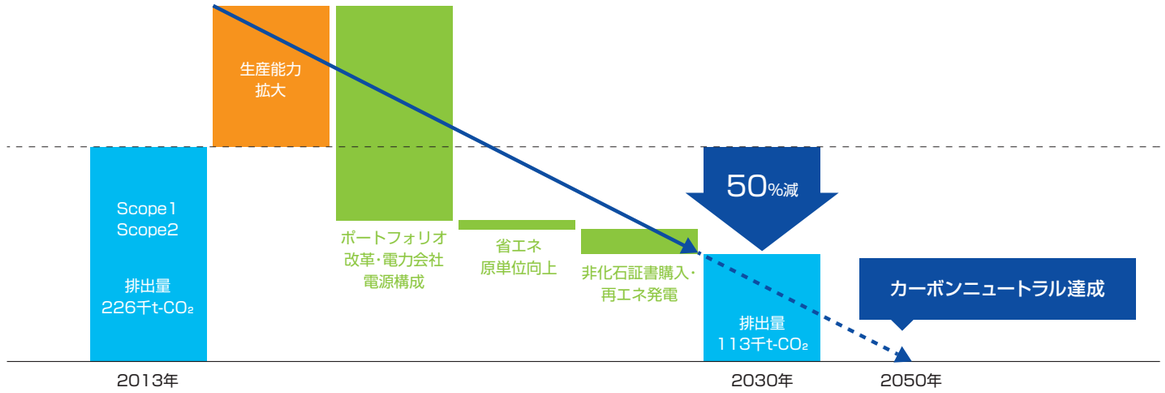
カーボンニュートラルに向けた取り組み

社会的価値の向上を目指し、サステナビリティに対する活動推進、エネルギー多消費型製品の縮小と脱炭素への取り組み強化およびリサイクルの推進に取り組んでおります。

そしてサステナブルな社会づくりに貢献するため、エネルギー由来の2030年の温室効果ガス排出量（Scope1,2）を2013年基準で50%削減する長期目標を新たに設定し、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し温室効果ガス排出量の削減を加速してまいります。

- CO_2 精密化学品事業の成長を果たしながら、CO_2排出原単位を改善
- 再生可能エネルギーの導入
- プロダクトミックス＋生産性向上ポートフォリオ改革
- 環境配慮型製品の開発推進

エネルギー由来温室効果ガス削減ロードマップ



燃焼除害設備

一部製品の製造プロセスから発生する排ガスには、地球温暖化係数（GWP）の高い物質や環境汚染物質が含まれています。当社は排ガスの無害化・無毒化処理を行う燃焼除害設備を導入することで、環境影響を低減してきました。

CO_2換算の温室効果ガスについて、現在では2013年度時点と比較して99%以上の削減に成功しています。

水素ボイラー設備

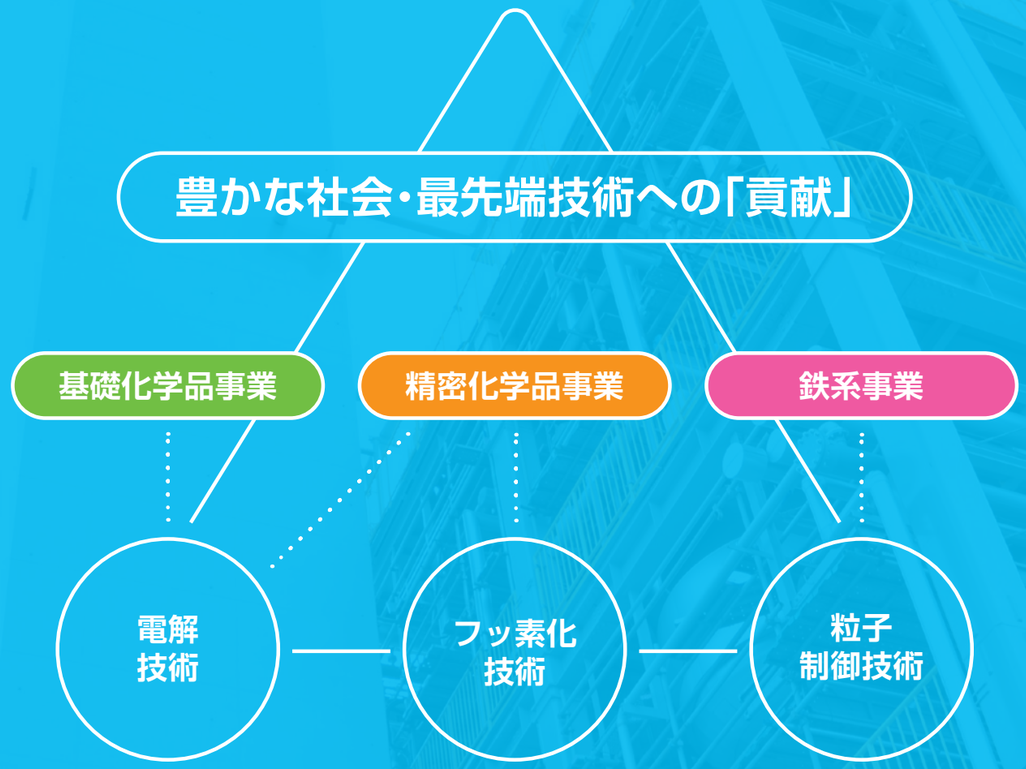
当社製品の製造における電気分解プロセスでは、副産物として水素ガスが発生します。当社ではこの余剰水素を燃料として使用する水素ボイラー設備を導入し、工場内で使用される加熱・保温用蒸気の供給に利用しています。

副産物の有効利用による省エネルギー化だけでなく、通常の燃料使用に伴う温室効果ガスの排出量低減にも繋がっています。

太陽光発電設備

渋川工場、水島工場では太陽光発電設備を導入しています。

省エネルギー化と原単位向上を進めながら、再生可能エネルギーを創出、利用していくことで、温室効果ガス排出量の削減をより一層加速します。



BUSINESS SEGMENTS

事業セグメント

関東電化工業が世界に誇る3つのコア技術と、それに由来する3つの事業領域が価値創造の基盤となっています。

産業のインフラを支える基礎原料から最先端の電子デバイス製造に欠かせない特殊材料まで、あらゆる分野で当社の高品質な化学製品が人々の豊かな生活を可能にしています。

Field 01

基礎化学品事業

無機製品

液体か性ソーダ／塩酸／次亜塩素酸ソーダ／塩化アルミニウム

有機製品

トリクロールエチレン／パークロールエチレン／塩化ビニリデン／シクロヘキサノール

Field 02

精密化学品事業

特殊ガス製品

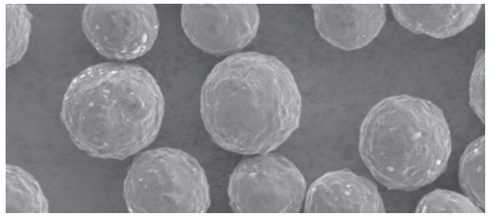
四フッ化炭素／モノフルオロメタン／ジフルオロメタン／トリフルオロメタン／ハフッ化プロパン／ハフッ化シクロブタン／ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン／六フッ化硫黄／四フッ化ケイ素／三フッ化窒素／三フッ化塩素／硫化カルボニル／六フッ化タングステン／フッ素混合ガス(F2-mix)／KSG-14／KSG-5

電池材料製品

六フッ化リン酸リチウム／ホウフッ化リチウム／ジフルオロリン酸リチウム

Field 03

鉄系事業



複写機用キャリヤー／マグネタイト

BUSINESS FIELD

事業領域

Field 01 基礎化学品事業

あらゆる産業の出発点、それが私たちの基礎化学。

関東電化工業の創業事業の１つである基礎化学品事業部門では、イオン交換膜電解法にて食塩からか性ソーダ、塩素、水素を製造しています。これらを利用した基礎化学品製品（無機・有機製品）は、産業用基礎原料としてさまざまな用途に使われます。

無機製品では、か性ソーダ、塩酸は、水処理や各種化学薬品の製造に使われます。次亜塩素酸ソーダは、漂白剤や殺菌剤として使われます。

有機製品では、トリクロールエチレンやパークロールエチレンといった不燃性の塩素系溶剤は、金属部品の洗浄やドライクリーニングに使われます。塩化ビニリデンは、難燃性繊維や食品包装樹脂の原料に使われます。

皆様の快適な暮らしと産業活動の発展を支えるため、製品の安定供給に努めています。

MAIN PRODUCTS

無機製品

■ か性ソーダ
紙・パルプ、石鹸・洗剤、各種化学薬品の製造、水処理、食品添加物用途

■ 塩酸
電解アルミコンデンサーの製造、金属表面処理、各種化学薬品の製造、水処理、食品添加物用途

■ 次亜塩素酸ソーダ
殺菌剤、漂白剤、酸化剤、水処理、食品添加物用途

■ 塩化アルミニウム
フリーデル・クラフツ反応触媒、医農薬中間体の製造

有機製品

■ トリクロールエチレン
金属部品の洗浄、ハイドロフルオロカーボンの製造、医農薬中間体の製造

■ パークロールエチレン
金属部品の洗浄、ハイドロフルオロカーボンの製造、ドライクリーニング溶剤、石油精製触媒再生

■ 塩化ビニリデン
難燃性繊維の製造、食品包装樹脂の製造

■ シクロヘキサノール
有機溶剤、各種有機製品の製造

紙・パルプ
紙、パルプの製造にか性ソーダが、紙の漂白に次亜塩素酸ソーダが使用されています。

水処理
工場排水や上下水道の浄化処理にか性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダが使用されています。

金属部品洗浄
金属部品の洗浄に汚れの溶解力が高く不燃性で扱いやすいトリクロールエチレン、パークロールエチレンが使用されています。

ハイドロフルオロカーボン
冷房装置の冷媒であるハイドロフルオロカーボンの原料にトリクロールエチレン、パークロールエチレンが使用されています。

BUSINESS FIELD

事業領域

Field 02 精密化学品事業

先端技術を支える。
未来を動かす。

関東電化工業では、1970年に国内で初めてフッ酸電解技術を確立して以来、半世紀以上にわたり独自のフッ素関連技術を培ってきました。これにより、原料となるフッ素の精製から各種製品の製造に至るまで、すべてのプロセスを社内で一貫して行うことが可能です。

特殊ガス製品は、高純度のフッ素ガスをその他の原料と直接、製品ごとに独立したプラントで反応させることにより、多様な製品ラインナップを実現しています。最新の分析設備の導入、顧客メーカーとの共同開発体制の構築などといった取り組みも推進しており、お客様の持つ幅広いニーズに対応しています。

また、当社はリチウムイオン二次電池に必要不可欠な電解質や添加剤を日本国内で製造する唯一のメーカーです。脱炭素・EVシフトに向けた世界的な潮流が加速する中、世界トップクラスの品質と供給能力を活かし、サステナブルな社会づくりに貢献し続けていきます。

MAIN PRODUCTS

特殊ガス製品

■ 四フッ化炭素(CF4)
半導体・FPD製造用エッチング／クリーニングガス

■ モノフルオロメタン(CH3F)
半導体製造用エッチングガス

■ ジフルオロメタン(CH2F2)
半導体製造用エッチングガス

■ トリフルオロメタン(CHF3)
半導体・FPD製造用エッチングガス

■ ハフッ化プロパン(C3F8)
半導体製造用クリーニングガス

■ ハフッ化シクロブタン(C4F8)
半導体・FPD製造用エッチング／クリーニングガス

■ ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C4F6)
半導体製造用エッチングガス

■ 六フッ化硫黄(SF6)
半導体・FPD製造用エッチングガス、電気設備用絶縁ガス

■ 四フッ化ケイ素(SiF4)
Si含有膜成膜材料、光ファイバー用配線材料

■ 三フッ化窒素(NF3)
半導体・FPD製造用クリーニングガス

■ 三フッ化塩素(ClF3)
半導体製造用クリーニングガス

■ 硫化カルボニル(COS)
半導体製造用エッチングガス

■ 六フッ化タングステン(WF6)
半導体製造用ALD／CVD前駆体(プリカーサー)

■ フッ素混合ガス(F2-mix)
半導体製造用クリーニングガス、エキシマレーザー用

■ KSG-14
半導体製造用エッチングガス

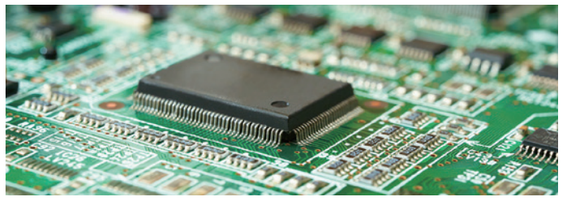
■ KSG-5
半導体製造用エッチングガス

電池材料製品

■ 六フッ化リン酸リチウム(LiPF6)
リチウムイオン二次電池用電解質

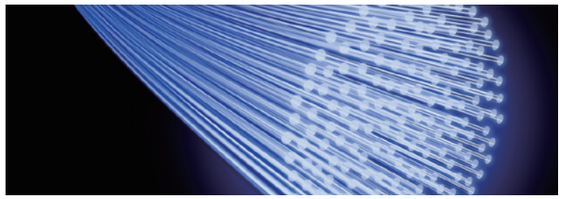
■ ホウフッ化リチウム(LiBF4)
リチウムイオン二次電池用電解質・添加剤

■ ジフルオロリン酸リチウム(LiPO2F2)
リチウムイオン二次電池用添加剤



半導体
製造プロセスにおいて、成膜・エッチング・クリーニング等の各工程で特殊ガスが使用されています。

FPD(Flat Panel Display)
製造プロセスで特殊ガスが使用されるだけでなく、原料として有機フッ素化合物が使用されています。



光ファイバー
製造用原料として四フッ化ケイ素が使用され、性能の向上に寄与しています。

大容量変電設備
絶縁性能の高い六フッ化硫黄が使用され、設備のコンパクト化を実現しています。

リチウムイオン二次電池
高品質な電解質や添加剤が二次電池の高寿命化・高性能化を可能にしています。

BUSINESS FIELD

事業領域

Field 03

鉄系事業

磁性の技術で、
情報社会をもっと快適に。

関東電化工業の鉄系製品は、次代を切り拓く情報産業に大きく貢献しています。年々多機能化と高画質化が進む複写機やプリンターでは、トナーを感光体に供給するキャリヤーおよびマグネタイトの品質が重要なポイントとなります。

キャリヤーには鉄系·マグネタイト系·フェライト系があり、当社は独自の樹脂コート技術を駆使することで、ユーザーのあらゆるニーズに応えています。また、重金属を含まないクリーンなEFフェライト等を幅広く取り揃えることにより、環境対応も心掛けております。

マグネタイトは磁性トナーの主要原料でもあります。当社は形状、粒径、磁気特性等でさまざまな種類のマグネタイトを提供しており、多くのトナーに使用されています。

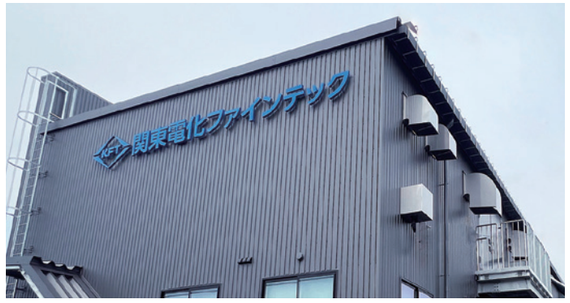
今後も当社は、多様化するユーザーのニーズに合わせた最適な製品を提供していきます。

MAIN PRODUCTS

鉄系製品

■ 複写機用キャリヤー
乾式複写機·レーザービームプリンターの現像剤用

■ マグネタイト
一成分乾式複写機·プリンターなどの現像剤用、顔料

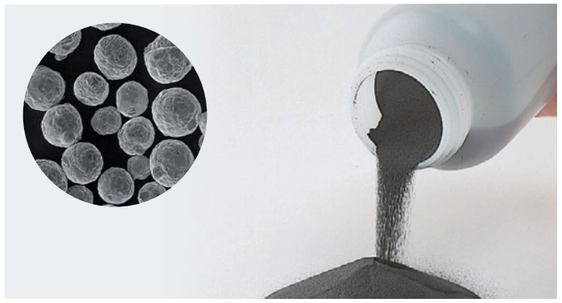


株式会社関東電化ファインテック

〒518-0823 三重県伊賀市四十九町2397
TEL 0595-21-2636
WEBSITE https://www.kdk-finetech.co.jp/

鉄系製品は、グループ会社である株式会社関東電化ファインテックにて製造を行っております。

複写機用キャリヤー
鉄系、マグネタイト系、フェライト系のキャリヤーが各種複写機のディベロッパーとして使用されています。



EF(ENVIRONMENTALLY FRIENDLY)キャリヤー
重金属類を含まない環境に優しいフェライトキャリヤーです。

プリンター
マグネタイトをトナーに使用しています。

渋川工場

FACTORY GUIDE

渋川から始まる、関東電化工業のモノづくり。

社会から信頼される工場として、安全をすべてに優先し工場周辺の皆様や地域との交流も大切にします。

群馬県渋川市の利根川沿いに位置する渋川工場は、会社設立の翌年に当たる1939年に操業を開始して以来、当社のマザー工場として様々な製品を世の中に送り出してきました。

現在は半導体用特殊ガス製品を中心に先端技術を支える様々な素材を製造しており、特殊ガス製造のキーマテリアルであるフッ素の生産量は世界有数の規模を誇ります。

国内外の数多くのお客さまに、高品質の製品を安定的に供給することで、産業の発展を支えています。

所在地	群馬県渋川市渋川1497
敷地面積	約138,000m^2
従業員数	326名(2025年3月末現在)

認証取得状況

- ISO9001/JQA-1009(1995年10月取得)
  大部分の製品についてISO認証を取得しています
- ISO14001/JQA-EM0438(1999年5月取得)
- ISO45001/JQA-OH0087(2020年7月登録更新)
  2005年～2020年はOHSASにて運用

製造品目

[特殊ガス製品]

- 四フッ化炭素
- モノフルオロメタン
- ジフルオロメタン
- トリフルオロメタン
- ハフッ化プロパン
- ハフッ化シクロブタン
- 六フッ化硫黄
- ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン
- 三フッ化窒素
- 硫化カルボニル
- 六フッ化タングステン
- フッ素混合ガス(F2-mix)
- KSG-5

水島工場

FACTORY GUIDE

水島から未来へ。革新を重ねる化学の力。

「信頼され、誇りを持てる工場を築こう」をスローガンに、皆様のご期待に応えられるよう努めてまいります。

水島工場は岡山県倉敷市に位置し、瀬戸内海を望む水島コンビナートの一角に所在しています。

各種産業に不可欠な基礎化学品やさらなる市場の拡大が見込まれる電池材料、高性能かつ低環境負荷な特殊ガス製品などを製造しており、世界的に環境配慮や経済安全保障の重要性が高まる中で当工場の果たすべき役割も大きくなっています。

多様なモノづくりに貢献できる世界トップレベルの化学品を供給すべく、独自技術の開発と生産革新に力を注いでいます。

所在地	岡山県倉敷市松江4-4-8
敷地面積	約185,000m^2
従業員数	274名（2025年3月末現在）

認証取得状況

- ISO9001/JQA-2254（1998年3月取得）
  大部分の製品についてISO認証を取得しています
- ISO14001/JQA-EM0437（1999年5月取得）
- ISO45001/JQA-OH0190（2020年1月登録更新）
  2006～2011年はOSHMS、2011年～2020年はOHSASにて運用

製造品目

[基礎化学品]

- か性ソーダ
- 次亜塩素酸ソーダ
- 塩酸
- トリクロールエチレン
- 塩化ビニリデン
- パークロールエチレン

[電池材料製品]

- 六フッ化リン酸リチウム
- ホウフッ化リチウム
- ジフルオロリン酸リチウム

[特殊ガス製品]

- 四フッ化ケイ素
- 三フッ化塩素
- ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン
- KSG-14

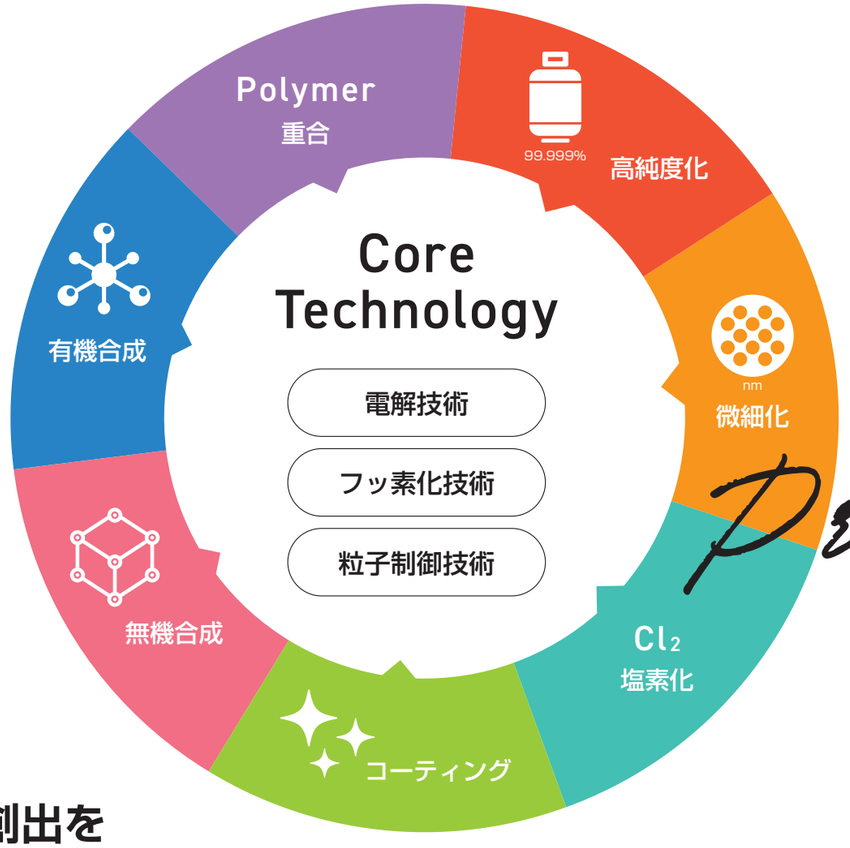
RESEARCH & DEVELOPMENT

研究開発

精密化学品事業
- 特殊ガス製品
- 電池材料製品

鉄系事業
- 鉄系製品

基礎化学品事業
- 無機・有機製品



Present

Future

環境への優しさで発展する会社を目指す

DX・GXの推進

既存事業の大幅な強靭化

新たな柱となる事業の創出

研究開発分野

［ 事業連動テーマ ］
- 半導体材料
- 電池材料
- キャリヤー

［ 新規事業テーマ ］
- エレクトロニクス材料
- PFAS代替材料（環境配慮型製品）
- ライフサイエンス

次世代事業の創出を目指した研究開発

当社は、コア技術である「電解技術」「フッ素化技術」「粒子制御技術」をベースに、強みとする「塩素化」「微細化」「高純度化」「有機・無機合成」「コーティング」「重合」などに関する独創的な技術を発展させ、構築してきました。

これまでに築き上げてきた技術とモノづくりのノウハウとを融合し、環境・エネルギー、電子・情報通信、ライフサイエンス・ヘルスケア、リサイクル等の分野において、独自性・優位性ある製品で世界最先端の技術を支え、サステナブルな社会に貢献する「創造的開発型企業」を目指します。

［ 研究開発体制 ］

国内外の各工場やその近隣に設置された研究開発拠点と、本社の研究開発部門が連携して新製品の開発を行っています。半導体材料は、事業本部のもと半導体材料開発部と半導体材料開発営業部が営業・開発・試作の一貫した業務体制で顧客密着型の研究開発活動を進めています。

総合開発センター

当社の将来を担う新規事業の創出を目指し、次世代材料の開発に取り組んでいます。

渋川開発室

複写機・プリンター用のキャリヤー、フッ素系機能性材料などの開発に取り組んでいます。

水島開発室

二次電池向けの新規材料やリサイクル技術、フッ素系・塩素系高付加価値製品などの開発に取り組んでいます。

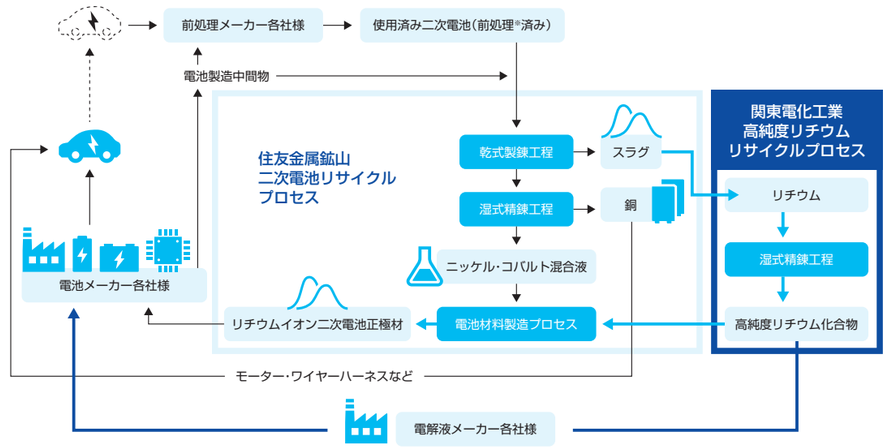
半導体材料開発部

主に半導体製造に使用される特殊ガス製品の開発に取り組んでいます。

リチウムイオン二次電池 リサイクル技術 の開発

関東電化工業はパートナー企業との共同開発により、使用済みリチウムイオン二次電池からリチウム化合物を高純度で再資源化し、電池材料へと水平リサイクルする技術を世界で初めて確立しました。

現在は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）から公募された「グリーンイノベーション基金事業」の支援を受け、水島工場内にリサイクルプラントを建設しています。



※前処理＝熱処理等による無害化処理および破砕・選別

今後もリチウムイオン二次電池のリサイクルシステム確立に向けた取り組みを推進し、持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。

COMPANY PROFILE

会社情報

国内拠点
DOMESTIC BASE

本 社

[関東電化工業株式会社]
〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング
TEL 03-4236-8801

工 場

[渋川工場]
〒377-8513
群馬県渋川市渋川1497
TEL 0279-23-3211

[水島工場]
〒712-8533
岡山県倉敷市松江4-4-8
TEL 086-455-5231

営業拠点

[大阪支店]
〒530-0057
大阪府大阪市北区曽根崎2-12-7
清和梅田ビル
TEL 06-6366-0681

[名古屋営業所]
〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30
名古屋三井ビルディング本館
TEL 052-571-1371

[熊本事業部]
〒861-8003
熊本県熊本市北区楠5-8-34
TEL 096-221-2811

開発拠点

[総合開発センター]
〒377-0027
群馬県渋川市金井425
TEL 0279-23-2712

[渋川開発室]
〒377-8513
群馬県渋川市渋川1497
TEL 0279-22-3533

[水島開発室]
〒712-8533
岡山県倉敷市松江4-4-8
TEL 086-455-5234

海外拠点
OVERSEAS BASE

国内グループ会社

[関電興産株式会社]
〒103-0023
東京都中央区日本橋本町3-4-5
PMO日本橋三越前
TEL 03-3548-3130

[株式会社上備製作所]
〒101-0041
東京都千代田区神田須田町1-12
山萬ビル
TEL 03-3254-7541

[株式会社関東電化ファインテック]
〒518-0823
三重県伊賀市四十九町2397
TEL 0595-21-2636

[カンデン渋川産業株式会社]
〒377-8513
群馬県渋川市渋川1497
TEL 0279-22-1705

[関東電化産業株式会社]
〒377-8513
群馬県渋川市渋川1497
TEL 0279-25-3467

[株式会社群馬鉄工所]
〒377-8513
群馬県渋川市渋川1497
TEL 0279-23-1441

[カンデン水島産業株式会社]
〒712-8052
岡山県倉敷市松江4-4-8
TEL 086-455-1692

海外グループ会社

[関東電化KOREA株式会社]
ソウル特別市瑞草区瑞草中央路24ギル、27、329号(瑞草洞)
TEL +82-2-3471-2361

[台灣關東電化股份有限公司]
新竹市東區慈雲路118號17樓之8
TEL +886-3-577-1575

[台灣關東電化股份有限公司 シンガポール支店]
11 Beach Road #03-01
Crasco Building Singapore 189675
TEL +65-3157-5974

[科地克(上海)貿易有限公司]
上海市長寧区遵義路100号 虹橋南豊城B棟3506室
TEL +86-21-6278-7004

[関東電化ファインプロダクツ韓国株式会社]
忠清南道天安市東南区修身面第5産業団地1路176
TEL +82-41-569-4562

[宣城科地克科技有限公司]
安徽省宣城市宣州区高新技術産業開発区梅子岡路15号
TEL +86-563-3032-099